

あさくち 議会だより

No. 45

令和2年
3月定例会
令和2年4月1日発行

- 3月定例会
補正予算 主な議案 ②
- 令和2年度一般会計予算 ④
- 委員会レポート ⑦
- 市政を問う！一般質問 ⑧

3月定例会は、2月25日から3月12日までの17日間の会期で行われました。

3月定例会

令和元年度補正予算 5,127万円を減額補正 令和元年度一般会計予算の総額は152億5,720万円

歳出の主なもの

区分	事業名	事業の概要	補正額
総務費	プレミアム付商品券事業	消費税の10%引き上げに伴い実施されたプレミアム付商品券販売業務の不用額	△7,720万円
衛生費	西部衛生施設組合負担金	最終処分場の建設工事の着工が遅れたことによる負担金の減	△6,179万円
	西部環境整備施設組合負担金		△2,062万円
教育費	キラリと光る未来プロジェクト事業	ICTを基盤とした先端技術等を効果的に活用して、各小中学校の児童生徒がパソコンを利用できるようにするための、高速大容量通信ネットワーク環境を構築	2億813万円
	学校トイレ施設改修事業	金光竹小学校のトイレ施設の洋式化	2,607万円

※1万円未満を切り捨てて表記しています。

歳入の主なものは、国庫補助金1億533万円などです。

主な議案

条例

○森林環境譲与税基金条例の制定

【原案可決】

森林整備や普及促進に関する施策の実施に必要な経費を積み立て、活用するための基金を設置するもの。

○子どもを虐待から守る条例の制定

【原案可決】

未来を担う子どもを虐待から守るために、市や保護者、市民、関係機関等の責務を明らかにし、また虐待を受けた子どもに対する支援等、虐待防止に関する必要事項を定めるもの。

○職員のサービスの宣誓に関する条例の一部改正

【原案可決】

従来の臨時・非常勤職員制度から会計年度任用職員制度への移行に伴い、所要の改正をするもの。

○特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

【原案可決】

令和2年度より市内の全小中学校で学校運営協議会制度が開始されることに伴い、学校運営協議会委員の報酬を定めるもの。また国の報酬単価見直し

に伴い、統計調査員の報酬を改定するもの。

○市立金光幼稚園通園バス条例の廃止

【原案可決】

幼稚園の通園区が市全域に拡大することに伴い、全域に通園バスを運行させることが困難となるため、令和2年3月31日をもって金光幼稚園通園バスの運行を廃止するもの。

○公民館条例の一部改正

【原案可決】

寄島東公民館の旧図書室を改装し、有償で貸し出しができるように、条例の一部を改正するもの。

○放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

【原案可決】

「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」の一部改正に伴い、条例の一部を改正するもの。

○寄島ふれあいセンター条例の廃止

【原案可決】

施設の老朽化が進み、利用者の安全確保が困難となったため、令和2年3月31日をもって廃止するもの。

○市営駐輪場条例の一部改正

【原案可決】

金光駅周辺整備事業により、駅南駐

輪場が再整備されることに伴い、所要の改正をするもの。

○金光駅南口待合所条例の一部改正

【原案可決】

金光駅南口の供用開始に向け、待合所の適切な管理を行うために、必要な事項を定めるもの。

予算

○スポーツ施設人工芝等整備事業費を削除する修正案
提出者 桑野和夫議員、沖原有美議員

提案理由(要旨)

人工芝グラウンドについて、将来にわたって全く必要ないとは思われないが、今は西日本豪雨を受けての災害対策を進めている時。行政の使命は市民の命と暮らしを守ることであり、今はグラウンドに莫大なお金を使う時ではない。

賛成討論(要旨)

竹本幸久議員

正体不明のウイルスも出ており、原案を作ったときと状況が違う。今後何が分かるか分からない状況であり、予算を抑えて構えておくことも必要ではないか。

沖原有美議員

交流人口を増やすことも大事だが、

次代を担う子どもたちの教育や子育て支援を充実させていくことの方が大事。大切な税金は市民に寄り添った使道。

大西恒夫議員

寄島地区の人があの場所に作ることを望んでいるとは思わない。それだけのお金があるならば、地区民の生命や財産を守る設備などを考えるべき。

香取良勝議員

6億円のお金があるなら小・中学校の学費をタダに。待機児童はいないと云うが、近くの保育所に入れず、仕事ができないという人がいる。そういう人を助けるために使うべき。

※反対討論はありませんでした。

人事

○教育委員会委員の任命

【同意】

教育委員会委員に吉田英子氏を任命することに同意しました。

○農業委員会委員の任命

【同意】

農業委員会委員に梶原めぐみ氏を任命することに同意しました。

○人権擁護委員の推薦意見

【適任】

人権擁護委員に友田陽勝氏、谷本靖氏、鈴木雅次氏を適任としました。

請願

○国民健康保険の子どもにかかる均等割保険料(税) 減免措置の導入を求め国への意見書の提出について

【採択】

提出者 岡山県社会保障推進協議会
紹介議員 沖原 有美

採択した請願については、関係機関に意見書を提出しました。

○看護師の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める請願

【採択】

提出者 岡山県医療労働組合連合会
紹介議員 沖原 有美

採択した請願については、関係機関に意見書を提出しました。

○介護従事者の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める請願

【採択】

提出者 岡山県医療労働組合連合会
紹介議員 沖原 有美

採択した請願については、関係機関に意見書を提出しました。

陳情

○人工芝の多目的広場に関する陳情

【不採択】

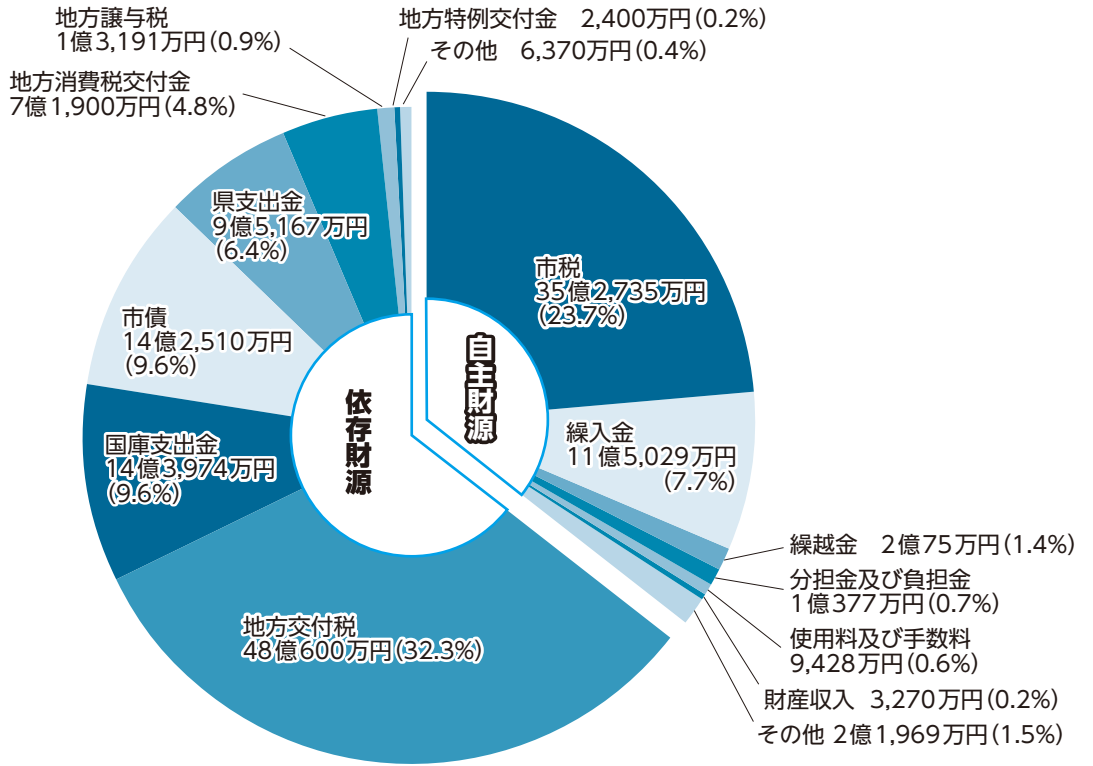
提出者 岡山県サッカー協会浅口支部

令和2年度一般会計予算を修正可決！！

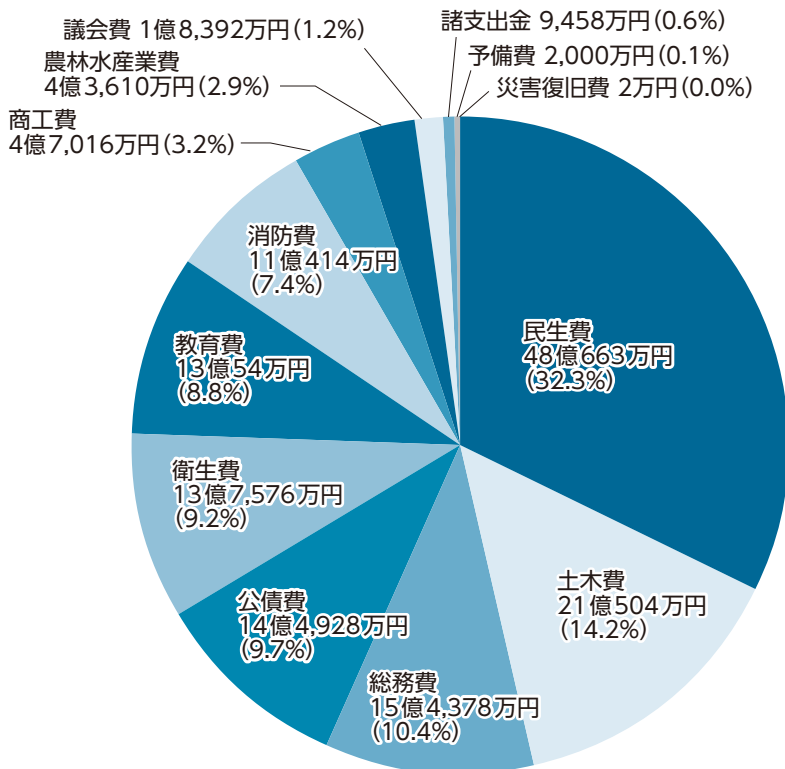
スポーツ施設人工芝等整備事業費6億円を削除し

総額 148億9,000万円

歳入



歳出



Pick Up!

主な予算の使いみち

一般会計

区分	事業名	事業の概要	予算額
総務費	子ども農山漁村体験交流事業	子どもの学ぶ意欲や自立心を育むとともに市の知名度向上や交流人口の拡大を図るため、都市部から子どもを受け入れ、農山漁村体験を通じた子ども同士の交流事業を実施	112万円
総務費／民生費	移住・定住促進事業	移住・定住人口の拡大を図るため、東京圏等から移住してきた市内就業者に対し移住支援金を交付するほか、都市圏で移住相談会を行うなど、移住希望者への支援を実施	301万円
民生費	障害者地域生活支援事業	障害者に対する相談支援事業や日常生活用具の給付を行い、障害の有無に関わらずお互いを尊重し、安心して暮らせる地域社会を目指す	6,026万円
衛生費	子ども医療給付事業	中学校卒業まで子どもの医療費無償	1億4,238万円
農林水産業費	漁港整備事業	老朽化し更新を必要とする漁港施設の保全工事等を実施	3,160万円
商工費	企業立地補助金	市内の土地を取得して製造工場等を建設し、操業を開始した企業に補助金を交付し、本市産業の高度化や雇用機会の拡大を図る	4億306万円
商工費／教育費	国立天文台188cm望遠鏡活用事業	観光・教育振興を図るため、岡山県下の市町村で構成する「天文王国おかやま」に参加するとともに、観望会等を実施	888万円
土木費	金光駅周辺整備事業	金光駅南口・北口広場等の整備	1億4,970万円
消防費／農林水産業費／土木費／教育費	災害対策事業	河川の浚渫・改良や避難所の環境整備等を実施し、災害に強いまちづくりを推進	6億5,791万円
教育費	キラリと光る未来プロジェクト事業	学力向上支援員及び放課後学習支援員の配置や電子黒板の導入により、小中学校児童・生徒の学力向上や知・徳・体の調和のとれた更なる成長を目指す	5,204万円

※1万円未満を切り捨てて表記しています。

議案に対する賛否

本定例会で審議した議案に対する各議員の賛否は次のとおりです。

〔○〕賛成、〔×〕賛成でない、「-」不参加、「欠」欠席

議案名	議員名	浅口朋進会						日本共産党 浅口市議員団	政和会	無会派						議決結果		
		中西 美治	大西 洋平	伊澤 誠	藤井 立子	石井由 紀子	山下 周吾	桑野 和夫	沖原 有美	井上邦 男 (議長)	藤澤 健	香取 良勝	大西 恒夫	青木 光朗	竹本 幸久		佐藤 正人	横山 達士
発議第1号	国民健康保険の子どもにかかる均等割保険料(税)減免措置の導入を求める意見書について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
発議第2号	看護師の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める意見書について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
発議第3号	介護従事者の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める意見書について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
発議第4号	市議会基本条例等の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
承認第1号	専決処分した事件の承認(和解及び損害賠償額の決定)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
同意第1号	教育委員会委員の任命同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
同意第2号	益坂財産区管理会委員の選任同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
同意第3号	農業委員会委員の任命同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第1号	森林環境譲与税基金条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第2号	子どもを虐待から守る条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第3号	職員の職務の宣誓に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第4号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第5号	市立金光幼稚園通園バス条例の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第6号	公民館条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第7号	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第8号	寄島ふれあいセンター条例の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第9号	市営駐輪場条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第10号	金光駅南口待合所条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第11号	市営住宅条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第12号	特定公共賃貸住宅条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第13号	工事協定の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	原案可決
議案第14号	モーターボート競走の施行	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	原案可決
議案第15号	令和元年度一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	原案可決
議案第16号	令和元年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	原案可決
議案第17号	令和元年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	原案可決
議案第18号	令和元年度介護保険特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	原案可決
議案第19号	令和元年度公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	原案可決
議案第20号	令和元年度畑地かんがい給水事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	原案可決
議案第21号	令和元年度益坂財産区特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	原案可決
議案第22号	令和元年度工業団地開発事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	原案可決
議案第23号	令和元年度水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	原案可決
議案第24号	令和2年度一般会計予算	○	×	×	×	○	×	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	修正可決
	修正部分を除く原案	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	修正可決
議案第25号	令和2年度国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第26号	令和2年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第27号	令和2年度住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第28号	令和2年度介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第29号	令和2年度畑地かんがい給水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第30号	令和2年度益坂財産区特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第31号	令和2年度工業団地開発事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第32号	令和2年度浅口市水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第33号	令和2年度下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第34号	過疎地域自立促進市町村計画の一部変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第35号	市道路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	適任
請願第5号	国民健康保険の子どもにかかる均等割保険料(税)減免措置の導入を求める国への意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
請願第6号	看護師の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
請願第7号	介護従事者の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
陳情第7号	人工芝の多目的広場に関する陳情	×	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択

※議長は採決に加わりません。

委員会レポート

総務文教常任委員会

○2月4日

寄島運動場（B&Gグラウンド）に計画されている人工芝多目的グラウンドについて、面積は1.2ヘクタールで、大人用サッカーコートは1面、子ども用は2面、グラウンドゴルフは2コース取ることができ、駐車場は約260台確保する予定。
事業費は約6億円。財源はスポーツ振興くじと日本サッカー協会の助成金、過疎対策事業債を考えていると説明を受けた。



整備が予定されていた寄島運動場

民生常任委員会

○2月7日

継続審査となっていた、請願第5号国民健康保険の子どもにかかる均等割保険料（税）減免措置の導入を求める国への意見書の提出について、請願第6号看護師の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める請願、請願第7号介護従事者の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める請願の合計3件について審議し、当委員会では、いずれも採択した。

障害者やその家族からの日常生活などの困り事や支援などについて、相談支援専門員が相談に応じる浅口市障害者相談支援センターを令和2年4月1日から、

産業建設常任委員会

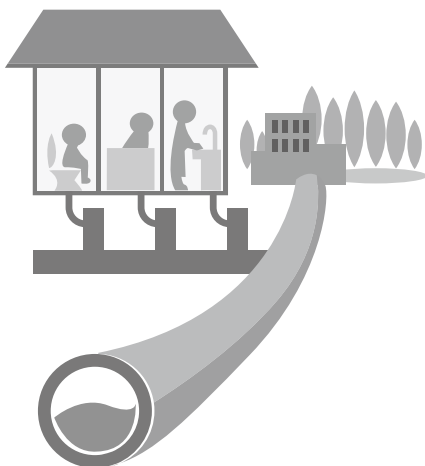
○2月10日

浅口市下水道事業は令和2年4月1日より地方公営企業会計へ移行。

効果として、経営状況の明確化、適正な財産管理ができ、経営基盤の強化、財務マネジメントの向上により、将来にわたり安定した経営を目指すことが可能になるとのことで、移行に向け作業は問題なく進んでいると報告を受けた。

金光町占見新田に開設すると報告を受けた。開所時間は8時半から17時15分だが、電話は24時間365日対応。

また新型コロナウイルス対策については、市長以下幹部職員で感染症対策連絡会議を開き、情報共有や今後の対応について協議を行い、既に消毒液を公共施設の入入り口及び窓口に配置していると報告を受けた。



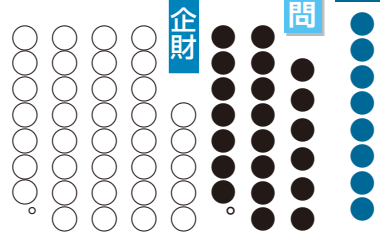
一般質問 市政を問う!

3月定例会では、9人の議員が一般質問で市政を質しました。

	質問者	質問項目	ページ
代表質問	浅口朋進会 中西美治	○浅口市のまちづくりの未来構想に向けて	9
	日本共産党 浅口市議員団 桑野和夫	○市長の政治姿勢について ○教育長の教育行政方針について	9
個人質問	佐藤正人	○浅口市のSDGs（持続可能な開発目標）の取り組みについて	10
	山下周吾	○浅口市の浚渫工事の状況について ○防災について ○市内道路について ○図書館・公民館について	10
	藤井立子	○ICT活用教育について ○小中学生とスマートフォンについて ○特殊詐欺被害対策について	11
	大西恒夫	○新型コロナウイルスについて ○水道事業の認識について ○国の水道事業広域化について	11
	沖原有美	○ひとり親家庭の住宅手当について ○市営住宅について	12
	石井由紀子	○浅口市が取り組む外国人支援について ○交通安全対策について	12
	横山達士	○浅口市の有害鳥獣対策について ○プログラミング教育について	13

- 寄支所 … 寄島総合支所長
- 金支所 … 金光総合支所長
- 会計 … 会計管理者
- 上下水 … 上下水道部長
- 産建 … 産業建設部長
- 健福 … 健康福祉部長
- 生環 … 生活環境部長
- 教育次 … 教育次長
- 企財 … 企画財政部長
- 理事 … 理事
- 教育長 … 教育長
- 副市長 … 副市長
- 市長 … 市長

答弁者



注釈



浅口市のまちづくりの未来構想に向けて

問 国道2号バイパス玉島笠岡道路の進捗状況、開通後の振興策は。

産建 令和元年12月25日に国土交通省岡山工事事務所から、令和7年度に開通見込みであると情報を受けた。金光の植木、鴨方の麺、寄島の魚、日本一の天文施設等を今後さらに積極的に広報していく。

問 大手企業が資金やノウハウを提案する新しい形のまちづくりの浅口市での事例は。

産建 実施事例はないが、国から寄せられてくる他の自治体の先行事例を参考に浅口市で活用できる手法なども研究している。

問 公共交通の充実で、寄島地区からJR鴨方駅までの直行便を試行運行しては。

企財 経費や起点と終点の設定、既存の民間バス路線との競合やニーズの把握等も行いながら判断していく。

問 令和元年度の2期整備事業は順調に進んでいるのか。

産建 当初の計画では今年度内に設計業務を終える予定だったが、一部の地権者から同意が得られていない。来年度も概略設計を継続して実施し、用地の用途がつき次第、詳細設計や用地測量等を行う。

問 浅口市に96ヶ所ある防災重点ため池のハザードマップの方針、重点事項の説明を。

産建 決壊時の影響が大きいと想定されるため池から順次ハザードマップを作成する方針。令和2年度には7つの池のハザードマップの作成を予定している。令和3年度以降も残りの池について作成していく方針。水の到達時間、予想される浸水の深さ、避難する方向、避難場所、緊急連絡先等を記載するようになる。



市長の政治姿勢について

問 3期目に掲げたマニフェストの進捗状況と感想は。

市長 政治の課題とその解決策は現場にあるという姿勢で皆様と共に市政を推進している。安心安全なまちづくり、未来を担う子供たちの育成、高齢者福祉、地域の活力アップに取り組んでいるが、公約に掲げる浅口市政の実現はまだ道半ばであり、引き続き全力で取り組む。

問 平和行政の推進、核兵器絶滅への取り組みは。

企財 市独自の啓発活動はしていないが、市内の公立中学校が研修を行ったり、私立中学校では学んだことを小学生に伝える活動をしている。

市長 浅口市では平成26年に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書が可決された。平成23年7月から平

和市長会議にも加盟している。**問** 市長出張座談会の開催内容について時間が短いとの意見があるが。

企財 各種団体などからの要請を受け市政に関する意見交換を行い、主要施策について市長が説明をしている。市民の意見で立案された政策もあり、運営の参考にしている。

市長 地区総会は開催場所も多く時間をとることができないが、あえて意見交換のために集まっていただけなら出席したい。

教育長の教育行政方針について

問 教員の労働時間が繁忙期に増え閑散期に減る変形労働時間制の導入により、健康と生活に問題はないか。

教育長 教員の健康保持のためには、休みを取得させる仕組みづくりが必要。夏季休業期間中にまとめ取りをすることになる。休暇を確実に取得させる措置を拡充することは重要と考え、施行に向け今後の審議内容を注視していく。



佐藤 正人

浅口市のSDGs（持続可能な開発目標）の取り組みについて

問 国が行った地方自治体に対するアンケート調査結果についての浅口市の認識は。

企財 自治体向けアンケート結果からSDGsを実施していく自治体は今後拡大していく段階であると考えられる。政府も強力で推進しているのに注視していき、政策についても考えていく必要がある。

問 SDGsについて市役所・公共施設・市民・企業への意識啓発をしようか。

企財 SDGsは、市民・市役所職員にもまだ馴染みのない言葉と認識している。まずは、市の施策が何に当てはまり、何が達成基準に該当するかを検証していく中で理解を深め、市としての方向性を定めた上で情報発信し、意識啓発を図っていきたいと考える。

SDGs 未来都市認定について

問 SDGs 未来都市認定とはどのような制度か。浅口市もめざしているか。今後の浅口市の市政運営に官民連携でSDGsの理念を反映するための取り組みは。

企財 内閣府が達成に向けた優れた取り組みを提案する都市を選定する制度で、認定された未来都市の中から10都市がモデル都市として選ばれ補助金による支援を用意されている。市としては、現時点で地方創生SDGs官民連携プラットフォームに入会し情報収集をしている。未来都市認定については、先進事例を研究しどのような事業が合うかを考えている。今後は、市の総合戦略の改定時にSDGsの取り組みについて検討していく。

市長

浅口市の各種計画は、SDGsに通じるものと考えている。各種モデル事業を視野に入れながら市政を進めていく。



山下 周吾

浅口市の浚渫工事について

問 市内の河川の浚渫工事を行っているがどのような計画か。里見川や鴨方川および支川など県の工事も含め、進捗状況はどうか。

産建 市内には里見川など県が管理する2級河川や市が管理する小規模な河川が多くある。造成などによる地形の変化や降雨量によって堆積する土砂の量は河川ごとに異なっており、長期的な計画を策定するよりも日頃からの状況確認で選定する方が効果的な浚渫工事と考える。市の管理河川は地元からの要望も含め堆積状況を確認しながら氾濫の危険が懸念される河川など選定して行っている。県の管理河川についても毎年要望し対応している。市・県を合わせて昨年度は13河川で延長2650m、今年度は18河川で

延長3300mの浚渫工事を行っている。断面積を確保することで河川災害の防止を図っていききたい。

図書館・公民館の環境整備について

問 鴨方図書館のゆっくり過ごせるスペースの進捗状況は。

教育次 館内の雑誌コーナーで飲めるよう昨年、ビックハット側の出入り口付近に蓋つき飲み物を備えた自動販売機を設置。ゆっくり過ごせるスペースについては、新年度予算でトイレの洋式化工事の詳細設計の中にイメージ案を盛り込んでおり、令和3年度に工事を行う予定。

問 市内の図書館、公民館にWiFi環境の整備を。

市長 WiFi環境整備については来年度、指定避難所用として金光公民館・健康福祉センター・寄島老人福祉センターの3カ所に新たに設置する。図書館についても3館とも導入する。様々な条件を総合的に勘案し、最も適切な方法で整備する。



藤井 立子

ICT活用教育について

問 国が進めるギガスクール構想と、市の今後の方針は。

教育長 校内ネットワークの整備と児童生徒一人一台のタブレット端末の整備を目的とし、この事業を実施する自治体に国が財源を確保して必要な支援をするもの。市は大型電子黒板の配備、校内LANの高速化整備を推進。令和5年度までに、全学年の児童生徒がタブレット端末を持ち活用できる環境の実現を目指す。

小・中学生のスマートフォンについて

問 スマートフォンは大変便利な道具ですが、使い方を間違えると大きな問題が起きる。OKAYAMAスマホサミットとはどういうものか。

教育長

岡山県教育委員会ではゲーム依存やスマホの長時間利用を重大問題と捉えている。スマホの利用時間制限やルールづくりなどについて、子どもたちの自主的な取り組みにつなげることを目的に、毎年OKAYAMAスマホサミットを開催している。市から今年度鴨方中学生徒会が参加した。

問 家庭でのスマホ使用のルール作りを把握されているか。

教育長 ルール作りについては学校の方でもしっかりと呼びかけを行ってきている。

特殊詐欺被害対策について

問 最近特殊詐欺という言葉をよく耳にする。犯人との接触を避ける意味で、被害防止機能付き電話の購入補助は大変有効です。もっと購入補助の周知としては。

市長 消費者トラブルの解決や被害者救済の斡旋に努め、啓発教育活動を行ってきた。この電話機の購入補助制度を実施しており、来年も継続する。



大西 恒夫

新型コロナウイルスについて

問 市の対応の説明を

健福 1月31日に第1回対策連絡会議を開催。第3回の会議で2月27日から3月15日まで屋内屋外施設を利用する全ての行事を中止。ホームページ・浅口メールでお知らせ。また「新型コロナウイルスを防ぐには」のチラシも配布。

教育次

3月2日から3月26日まで全ての小・中学校を臨時休校。保育園・こども園・幼稚園は通常通り開園。学童クラブには長期休業中と同様、朝からの預かりを依頼した。学童クラブ未利用者も各図書館で緊急の一時預かりをする。

水道事業の認識について

問 西南水道企業団に金光町域を統合しないとの方針に変わりはないか。

上下水

平成28年に現状のままの方針を決定。統合した場合のメリット・デメリットを検討する必要はないと考える。

市長

4年前に特別委員会を作り議論を重ねて出した結論。

国の水道事業広域化について

問 平成28年に県が「水道事業広域連携推進検討会」を設立している。そこで井笠地区6団体の水道施設の共同利用という目標が掲げられているが、それに向けた取り組みは。

上下水

検討は現在も継続しているが、市として効果のあるものはなかった。

問 厚生労働省の「水道広域化促進事業」とは。

上下水 この事業は広域化に伴う国の補助事業。市町村域を超えて3以上の水道事業者の広域化等の採択基準がある。交付率は3分の1で交付対象事業者に補助するもの。県内での事例はまだなく、採択条件等は厚生労働省と個別案件ごとに協議する必要がある。耐用年数がきたものへの補助など、今後勉強していく。

この事業は広域化に伴う国の補助事業。市町村域を超えて3以上の水道事業者の広域化等の採択基準がある。交付率は3分の1で交付対象事業者に補助するもの。県内での事例はまだなく、採択条件等は厚生労働省と個別案件ごとに協議する必要がある。耐用年数がきたものへの補助など、今後勉強していく。

この事業は広域化に伴う国の補助事業。市町村域を超えて3以上の水道事業者の広域化等の採択基準がある。交付率は3分の1で交付対象事業者に補助するもの。県内での事例はまだなく、採択条件等は厚生労働省と個別案件ごとに協議する必要がある。耐用年数がきたものへの補助など、今後勉強していく。

この事業は広域化に伴う国の補助事業。市町村域を超えて3以上の水道事業者の広域化等の採択基準がある。交付率は3分の1で交付対象事業者に補助するもの。県内での事例はまだなく、採択条件等は厚生労働省と個別案件ごとに協議する必要がある。耐用年数がきたものへの補助など、今後勉強していく。

この事業は広域化に伴う国の補助事業。市町村域を超えて3以上の水道事業者の広域化等の採択基準がある。交付率は3分の1で交付対象事業者に補助するもの。県内での事例はまだなく、採択条件等は厚生労働省と個別案件ごとに協議する必要がある。耐用年数がきたものへの補助など、今後勉強していく。

この事業は広域化に伴う国の補助事業。市町村域を超えて3以上の水道事業者の広域化等の採択基準がある。交付率は3分の1で交付対象事業者に補助するもの。県内での事例はまだなく、採択条件等は厚生労働省と個別案件ごとに協議する必要がある。耐用年数がきたものへの補助など、今後勉強していく。

この事業は広域化に伴う国の補助事業。市町村域を超えて3以上の水道事業者の広域化等の採択基準がある。交付率は3分の1で交付対象事業者に補助するもの。県内での事例はまだなく、採択条件等は厚生労働省と個別案件ごとに協議する必要がある。耐用年数がきたものへの補助など、今後勉強していく。

この事業は広域化に伴う国の補助事業。市町村域を超えて3以上の水道事業者の広域化等の採択基準がある。交付率は3分の1で交付対象事業者に補助するもの。県内での事例はまだなく、採択条件等は厚生労働省と個別案件ごとに協議する必要がある。耐用年数がきたものへの補助など、今後勉強していく。

この事業は広域化に伴う国の補助事業。市町村域を超えて3以上の水道事業者の広域化等の採択基準がある。交付率は3分の1で交付対象事業者に補助するもの。県内での事例はまだなく、採択条件等は厚生労働省と個別案件ごとに協議する必要がある。耐用年数がきたものへの補助など、今後勉強していく。

この事業は広域化に伴う国の補助事業。市町村域を超えて3以上の水道事業者の広域化等の採択基準がある。交付率は3分の1で交付対象事業者に補助するもの。県内での事例はまだなく、採択条件等は厚生労働省と個別案件ごとに協議する必要がある。耐用年数がきたものへの補助など、今後勉強していく。

この事業は広域化に伴う国の補助事業。市町村域を超えて3以上の水道事業者の広域化等の採択基準がある。交付率は3分の1で交付対象事業者に補助するもの。県内での事例はまだなく、採択条件等は厚生労働省と個別案件ごとに協議する必要がある。耐用年数がきたものへの補助など、今後勉強していく。

この事業は広域化に伴う国の補助事業。市町村域を超えて3以上の水道事業者の広域化等の採択基準がある。交付率は3分の1で交付対象事業者に補助するもの。県内での事例はまだなく、採択条件等は厚生労働省と個別案件ごとに協議する必要がある。耐用年数がきたものへの補助など、今後勉強していく。



沖原 有美

ひとり親家庭の住宅手当について

問 浅口市のひとり親家庭への支援策は。

健福 ひとり親家庭には、母子家庭や父子家庭、祖父母などと暮らしている場合など形態はさまざまであり、家庭の状況に配慮した支援が必要。市では、経済的負担の軽減や就労支援、子育てと生活に関する支援など、自立を促進する取り組みを行っている。経済的支援として児童扶養手当の支給、こどもの就学資金の貸し付けや援助、医療費の一部助成や保育料の減免などしている。就労支援としては、ハローワークと連携し、就職相談会や同行支援、看護師や保育士の資格取得するための研修期間中の生活費を支援している。そのほか生活状況の相談を行い、生活安定のため

の支援をしている。

問 ひとり親家庭の半数以上の子どもたちが貧困状態にあるといわれているが現状は。ひとり親家庭に住宅手当を。

健福 核家族化や少子化により子育て環境が変化していく中で、安心して子どもを産み育てることができ環境づくり、子どもが健やかに育つ環境を整備することが必要。住宅手当は家賃の高い地域で一部助成している自治体はあるが、浅口市では考えていない。

市営住宅について

問 市営住宅についての入居状況、修繕対策、老朽化住宅の建て替えは。

産建 一般市営住宅が金光に2ヶ所18戸、鴨方4ヶ所25戸、寄島4ヶ所38戸、計81戸、特定公共賃貸住宅が12戸ある。空き部屋は8戸ある。修繕が必要な場合、日常生活に不可欠な場合はできるだけ早く対応し、予算措置をしたあと修繕する場合もある。老朽化している住宅の建て替えをする予定はない。



石井由紀子

浅口市が取り組む外国人支援について

問 現在、把握している市内在住の外国人の人数は。

生環 令和2年1月末日現在、274人。

問 市内在住の外国人を対象に日本語教室や防災に対する取り組みなど、市としての考えは。

生環 市内に誘致した企業のうち、外国人労働者を雇用している所にニーズ調査を実施。今後の調査結果も合わせ、どのような支援が必要かを検討していく。

問 今後、外国人や国際化への取り組みのために職員として外国人を採用する考えは。

企財 現在市内の小・中学校等において外国人7名を外国語指導助手として任用している。現在、正規職員として外国人を採用する計画等はないが、社会情勢・社会環境の変

化や、市民ニーズの高度化・多様化が進む中で採用する必要があるれば検討していく。

交通安全対策について

問 浅口市のマナーの現状と向上への取り組みは。

企財 令和元年度に市内で発生した事故の原因を見ても前方不注視、安全不確認が上位である。交通安全運動期間中には、幅広い世代を対象に講習会を実施している。

問 浅口市高齢者自動車急発進防止装置整備補助金とはどのような制度か。また、来年度の取り組みは。

企財 浅口市内に在住の70才以上の高齢ドライバーの方を対象に、国の性能認定を受けている後付けの急発進防止装置を整備した際、装置の本体価格と取り付け工賃を合わせた金額の3分の2以内の額に對して4万円を上限として補助するもの。来年度についても当初予算案に計上している。



横山 達士

浅口市の有害鳥獣対策について

問 くくり罠、箱罠の説明と注
意点は。

産建 くくり罠は市内の猟師が多く使用している。穴に猪が足を踏み入れるとワイヤーが締めまり罠をくくりつけた木に固定される仕組み。罠には表示をしてあるが、捕まった猪が襲ってくる恐れがあるため絶対近づかないでいただきたい。箱罠は檻のような罠にエサを使って捕獲する。事前に餌付けが必要で捕獲まで餌を交換していく。

問 箱罠の使用状況と現状の実績は。

産建 9台保有し全て貸し出し中であり、箱罠捕獲数は全体の5%。

問 捕獲補助者の説明と活用は。また、有害鳥獣対策について、今後の浅口市としての

考えは。

産建 狩猟免許を必要としない餌の交換や見回り業務を行う方と位置付けている。

市長 対策として捕獲に重点を置いて様々な施策と猟友会のご協力により成果を上げてきた。猪対策には地域が一丸となっていくことが有効で、箱罠は需要に応じて増やしていく。捕獲補助活動を行っていく住民組織についても、猟友会と協議検討の上、積極的にバックアップしていきたい。

プログラミング教育について

問 プログラミング教育の狙いと取り組みの経過は。

教育長 コンピューターに必要な命令をどのように組み合わせるかという、プログラミングの思考を育てていく教育。プログラミング教材を用い、全国でも先進的に進めている。

問 ICT教育の推進について、今後の浅口市としての考えは。

市長 来年度全ての小・中学校に大容量高速無線LAN環境を整備するなど教育環境を整えていく。

情報満載

ホームページをご覧ください!

浅口市議会では、議会の内容を多くの方にお知らせするため、ホームページを設けています。ホームページでは、議員の紹介、本会議や委員会の開催日程などの議会情報や、これまで発行している議会だよりのバックナンバーも掲載しています。また、本会議の会議録も掲載しており、一般質問や議案の審議内容もご覧いただけます。



本会議の会議録もご覧になれます。

浅口市議会 検索

ここをクリック

浅口市議会

浅口市の行政

議会だよりの作り方 ～広報特別委員会～

表紙写真はどのように決まっているの

発行時期のイベントや風景を委員で話し合い、その後、委員が撮影に行きプリントアウトした写真を選定し決めています。また、一般市民の方の写真を採用することもあります。人物が写っている場合は了解を得て掲載しています。



委員会の様子

一般質問などの原稿はどのように作成しているの

委員が担当を決め原稿を作成しています。一般質問の録音音声元に文字起こしをして2～3日で原稿を作成し、質問議員に確認を取り、その後、委員全員で校正しています。

議会終了翌月発行に間に合わせるため、急ぎながらも丁寧に作業を行っています。



編集作業で心がけていることは

誤字脱字チェックや言い回しの修正など。公平・中立・客観的に読者が読みやすいように心がけています。

より良い議会だよりができるよう、今後、やっていきたいことは

イラストや写真を多く使用し、視覚的にも分かりやすく読みやすい議会だよりを作成できればと思います。

傍聴へお越しください

(本庁舎3階)

傍聴は、議会活動にふれることのできる最も身近な方法です。どうぞお気軽に傍聴へお越しください。

なお、次回の6月定例会は、5月26日に開会予定です。

会議の日程は、5月下旬に議会運営委員会で決定され、ホームページで公表します。



浅口市議会

検索

声の議会だより

目の不自由な方にも議会の内容をお知らせするため、浅口はるか会のご協力により議会だよりを音訳しています。

必要な方は社会福祉協議会へ

☎0865・44・7744

表紙写真

晴れた空に日差しも心地よい春の1日。JR金光駅近くの桜は満開です。その横を電車が勢いよくかけ抜けていきました。

オレンジの電車、ピンクの桜、青い空が全て写る撮影スポットです。



広報特別委員会

委員長 伊澤 誠
副委員長 佐藤 正人
委員 沖原 有美 山下 周吾
石井由紀子 藤井 立子
中西 美治



議会だよりは再生紙を使用しています

